

「立つ」を考える ― 東洋的身体技法と科学の対話

よ ら せ い ふ



日本養生学会第10回大会

期日 平成21年3月22日(日)～23日(月)
会場 筑波大学 春日キャンパス
参加費 筑波大学教職員・学生 無料 一般参加 1000円
正会員(当日会員も含む) 3000円 学生(院生・研究生) 1000円
主催 日本養生学会
共催 筑波大学
大会事務局 筑波大学体育科学系 B505遠藤研究室

Tel&Fax:029-853-6345 Mail:entaku@taiiku.tsukuba.ac.jp

プログラム

3月22日

10:30 開会式

10:45 キーノートスピーチ

「立つ」を考える ～ 科学と実践の対話にむけて ～

矢田部英正

プロフィール

日本の伝統的な身体技法を研究する。
姿勢研究の一環として99年より椅子の開発に着手。
武蔵野身体研究所主宰、武蔵大学非常勤講師
著書：たたずまいの美学、椅子と日本人のからだ



カメラマン：正田千里

11:15 学術講演

科学者の立場から「立つ」を考える

スポーツ医学の立場から : 渡會公治(東京大学)
重心動揺検査の原理と意義 : 藤永 博(和歌山大学)
体育に資する重心動揺の捉え方 : 木塚朝博(筑波大学)

13:00 スピリチュアル打楽器コンサート

長屋和哉

心と身体と魂のための音楽コンサート ～ 生きる力としての音楽 ～



13:30 演武

青木宏之 : 新体道

14:00 達人達の「立つ」を測る

太極拳、ヨガ、気功、舞踊、新体道、ダンス

15:10 シンポジウム

「立つ」の実践と科学 - 実技と科学の対話 -

「立つ」を語る(主体・主観の立場から) - 何をどう感じているか -
対話編 - 達人と科学者の対話 -

3月23日

10:00～ 一般研究発表 1

13:00～ 一般研究発表 2